

Sawako Ura Exhibition Muistin maisema/ 記憶の風景

テキスタイルデザイナー 浦佐和子 初個展

会期：2014年7月12日(土)～7月29日(火)

会場：doinel ドワネル (港区北青山 3-2-9)



テキスタイルのための原画展

ヨーロッパを中心とした雑貨、服飾雑貨から食品や自然派ワインなどを扱う、北青山のショップ doinel (ドワネル) はこの度、フィンランドで活躍するテキスタイルデザイナー・浦佐和子さん初の個展を開催致します。

本展では、作家の記憶の中にある風景(＝フィンランドの風景)からイメージし、デザインされるテキスタイルの原画を一同に展示します。

浦さんの作品は、風景をそのまま描きデザインを起すのではなく、そこからイメージを膨らませ、光の美しさや目には見えない空気の流れ、風が起す森のざわめきなど、五感で記憶されている感触をアートの手法で表現し、デザインを通して昇華させていきます。

実際に原画は、クレヨンで色の層をつくり、その上から爪楊枝で削って線や点を描くという、幼稚園などで習った「スクラッチ画」のような手法と造形によって描かれています。

長く厳しい冬がおとずれるフィンランド。屋内で過ごすことが多い冬の間は、部屋の中で自然を感じたり、楽しく過ごす工夫として、テキスタイルにもアート性を求めていったのかもしれない。

アトリエでカリカリと作品を仕上げていくまっすぐな姿勢と、フィンランドでの生活のすぐそばにある自然の大きさ。その両方が伝わる、浦さんの作品は、フィンランドで暮らす人々と自然との関係や、アートに対する欲求、フィンランドデザインに潜むアート性の高さを体現しています。

- オープニングレセプション 2014年7月12日(土) 18:00～21:00 Invitation Only

浦佐和子さんを囲み、ささやかながらオープニングレセプションを開催します。

- プレスレビュー 2014年7月14日(月) 13:00～18:00

浦佐和子さんが在廊し、プレス関係者の皆さまへ向けて、作品の説明を行います。

会場の撮影及び、作家への個別取材、撮影も承ります。詳細スケジュール、ご不明点などは下記までお問い合わせください。

お問い合わせ先：デイリープレス 山本 masumiyamamoto@dailypress.org p. 03-6416-3201 m.p 090-4062-6361

Designer Profile

浦 佐和子 (うら さわこ) テキスタイルデザイナー



1986 年生まれ、東京都出身。2008 年武蔵野美術大学を卒業後フィンランドに拠点を移し 2011 年に Aalto 大学の修士号を取得。その後フリーランスとして活動。主に自然の美と記憶の中の風景をテーマに制作をしている。グループ展やコンペティションにも積極的に参加し、2010 年 HeimTextile (フランクフルト) に出展。また、2010 年に行われた cocca 主催の Textile PrintFestival2010 にて入賞を受賞。2012 年 Marimekko2012S/S コレクションにてデザインを提供。現在は、Marimekko へのデザイン提供など、フリーランスのテキスタイルデザイナーとしてヘルシンキで活動している。
<http://www.sawakoura.com>

Works

Marimekko Spring Collection 2012



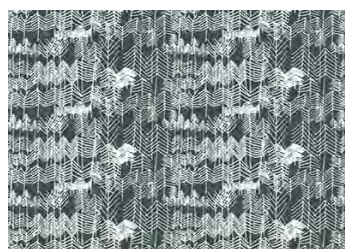
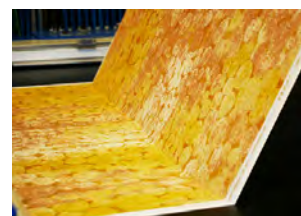
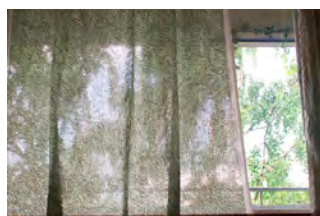
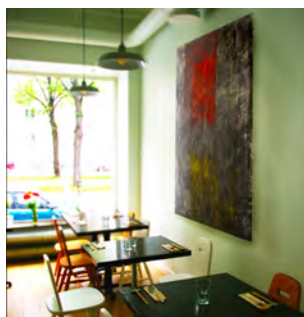
Tiikeri (Tiger)



Villisika (Wild Boar)



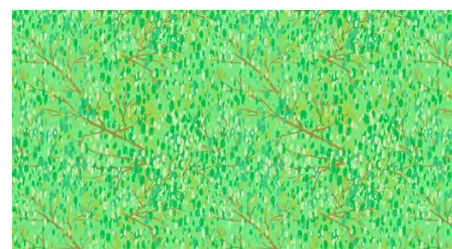
Tunturipöllö (Arctic Owl)



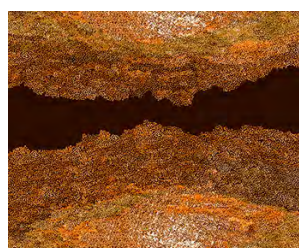
mori



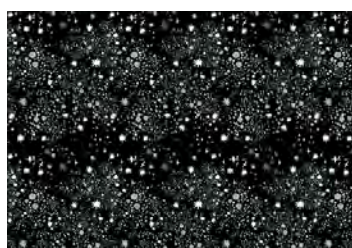
ishidatami



kigi



galaxy



fairy star



fairy tale

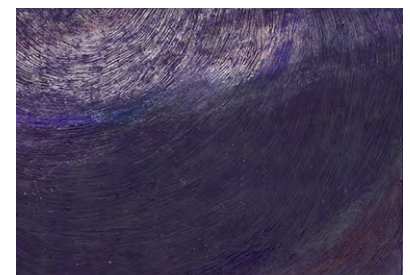
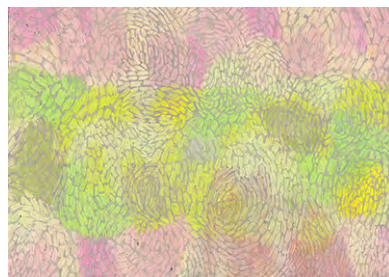
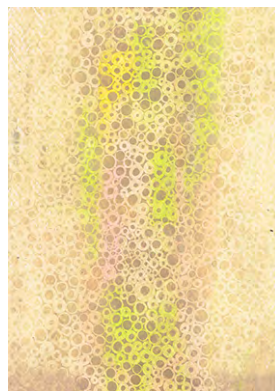
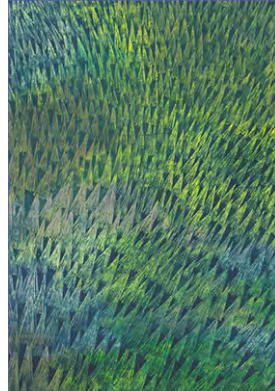


silli

展示作品

本展のために描きおろした、およそ 60 点の原画を、会期中テーマごとに入替をしながら展示致します。(入替は 3 回を予定)
 フィンランドの自然から五感で感じ記憶されたイメージ。そのイメージから繊細なディテールをもつ原画として描かれ、その描写が連続した
 パターンとなりテキスタイルへ。会場では、その過程を浦さん自身が撮影したフィンランドの風景写真と、原画のディテールを用いた映像で
 紹介します。
 また代表作である、2012 年に Marimekko より発表したテキスタイルも展示致します。

展示予定原画 一部



※価格未定 (中心価格 4~5 万円を予定しております。)

展覧会概要

タイトル：Sawako Ura Exhibition Muistin maisema/ 記憶の風景

会場：doinel (ドワネル)
東京都港区北青山 3-2-9 〒107-0061
p. 03-3470-5007 info@doinel.net
www.doinel.net

会期：2014年7月12日(土)～2014年7月29日(火)
12:00～20:00 水曜定休

内容：テキスタイルデザイナー浦佐和子の作品展示 及び販売

主催：株式会社ビオトープ

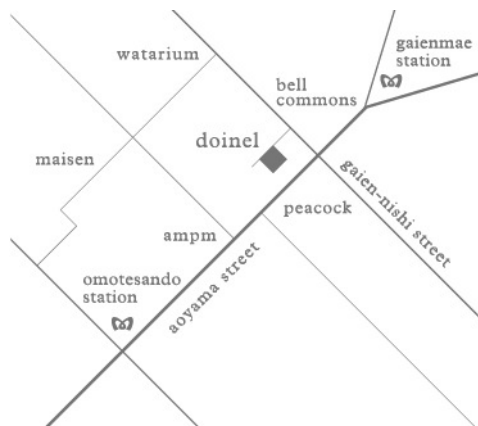
協力：設計事務所 ima (空間構成) / enamel. (アートディレクション)
衣奈彩子 (web サイトコンテンツ編集)

販売物：作品 原画 フレーム付き 価格未定

オリジナルハンカチ ¥1,500-

ポスター 価格未定

※原画は、会期終了後も doinel のオフィシャルサイトにて販売



展覧会特設サイト <http://doinel.net/sawakoura>

○ オープニングレセプション 7/12 (土) 18:00～21:00 Invitation Only

○ プレスレビュー 7/14 (月) 13:00～18:00

※会場の撮影、作家へのご取材等のご希望がありましたら、下記プレス担当までご連絡下さい。

ビオトープとドワネルについて

ビオトープは、ヨーロッパの輸入品を中心として、現代の衣食住、空間や時間を豊かにしてくれる、背景をしっかり持ったアイテムを扱っている会社です。

2004年に、北欧の50-70年代におけるモノ作りや生活スタイルの豊かさを現代の生活に新しい提案として再現したい、という思いをもって北欧のヴィンテージアイテムを扱うショップ「biotope」を学芸大学にオープン。

2010年には、biotopeの一旦の閉店とともに、外苑前「doinel」をオープンしました。doinelでは、北欧に限らないヨーロッパのアイテムを中心に、「プロダクトとして成立する最小単位」という背景を持った、生活の中での感性を豊かにしてくれる雑貨や服飾雑貨、自然派ワインや食料品などのアイテムをご紹介します。

また、2011年3月から、biotopeは伊勢丹新宿店本館5Fに出店し、ヴィンテージアイテムを中心とした定期的な展示や催事を行っております。

retail

biotope: 北欧のヴィンテージアイテムを中心に扱うショップ。

doinel: ヨーロッパの現行品を中心とした雑貨、服飾雑貨から食料品や自然派ワインなどを扱うショップ。

wholesale

biotopeとdoinel、2つのディビジョンにて、ディストリビューション業務や国内外とのデザイナーやメーカーとの商品開発などを行っております。

biotopeでは、フィンランドのテキスタイルブランド"Lapuna Kankurit"をはじめとした北欧の雑貨アイテムを、doinelでは、北欧に限らないヨーロッパを中心とした「最小単位のプロダクト」を、それぞれ扱っております。

※ビオトープは、"Lapuan Kankurit"の日本国内正規総代理店です。

design for living
biotope

doinel

【GENERAL CONTACT】

株式会社ビオトープ doinel 中道麗子 p. 03-3470-5007 f. 03-6447-1476 e-mail. nakamichi.biotope@gmail.com

【PRESS CONTACT】

デイリープレス 山本真澄 m.p. 090-4062-6361 p. 03-6416-3201 e-mail. masumiyamamoto@dailypress.org

※本件に関するご取材、また、商品及び画像のお貸し出しに関するお問合せは、山本までご連絡ください。